

凌雲台

ふるさとに笑顔広げる 龍野っ子
～笑顔 元気 感謝 安全～

龍野小学校学校便り
第34号
令和2年11月19日
文責：校長 大江律子

人権旬間 互いのことを大切にしよう

11月9日から11月20日まで、龍野小学校の人権旬間です。龍野小学校では、「かけがえのない存在」であることに気付き、「自分もまわりの人も大切できる子どもを育てていきたい」と取り組んでいます。2学期の人権旬間の一貫として、ズームによる校長の人権講話を行いました。

(人権講話概要)

「人権」とは何でしょう。国語辞典には、「人間が当然持っている権利」と書かれています。人権は全ての人々が持っています。人権は「自分も大切、まわりの人も大切」にすることだと思います。龍野っ子の皆さんは、自分やまわりの人を大切にしていますか。1学期、龍野っ子の皆さんが答えた「自分が好きか」のアンケートを見て、自分のことを好きではないという子どもがいることを知り、校長先生は悲しくなりました。校長先生や龍野小の先生方は皆さんのことが大好きです。皆さんはとてもステキです。「ぞうさん」や「不思議なポケット」を作ったまど・みちおさんの詩を紹介し、この詩を聞いてどんなことを考えましたか？この地球にいる一人一人がかけがえのない存在です。世の中にいなくていい人なんて、だれ一人いません。龍野小140人一人一人がとても大切な存在です。そんな龍野っ子の皆さんにお願いがあります。「自分を大切に」そして「まわりの人を大切にできる人」になってほしいと思います。今、人権旬間です。是非、自分の身の回りのことを考えてみてください。自分が笑顔で過ごしていますか？まわりの人は笑顔ですか？「困ったこと」や「いやだな」と思うことは、誰かに相談したり、学級で話し合ったりしてください。そして、笑顔あふれる龍野小学校を作っていきます。

ぼくが ここに
まど・みちお

ぼくが ここにいるとき
ほかの どんなものも
ぼくとかさなつて
ここにいることはできない

もしも ぞうがここにいるならば
そのぞうだけが
まめがいるならば その一粒のまめしか
ここにいることはできない

ああ この地球のうえでは
こんなに 大事にまもられているのだ
どんなものが どんな所にいるときにも

本校では、この人権旬間中に各学級での人権学習、心のアンケート、一人一人の子どもとの教育相談を実施していきます。学習の様子など、学級通信や学校便りで紹介していきます。

国語の学習がんばっています 本校では、子どもたちに読むの力をつけるために国語の授業を研究しています。授業の様子を紹介します。

ブックカードで本を紹介しよう～3年生!

3年生は、「3年とうげ」の学習をして、2年生に「世界の民話を読んで、ブックカードで紹介しよう」と学習を進めてきました。民話の楽しさを「〇ページの何行目に書いてあるので、喜んでいる気持ちが伝わってきました。」など、文を根拠に学習しました。熊本県立教育センターの先生からも、子どもたちが真剣に学ぶ姿をしっかりとほめていただきました。中村先生と子どもたちで、ステキな授業が展開されました。心のこもったステキなブックカードが完成しました。



音読劇をしよう～2年生

2年生は、「お手紙」を学習して、お家の人に音読劇で発表しようとして取り組んでいます。文の読み方を意識しながら、その言葉にどんな意味があるのか想像しながら音読をしています。1の場面と4の場面の「ああ。」という言葉も意味が違うことを考えていた子どもたちです。上益城教育事務所の先生からも、子どもたちの意欲と学習態度をほめていただきました。どんな音読劇を創り上げていくのかとても楽しみです。

